



令和7年度 熊小中学校グランドデザイン



第4次浜松市教育総合計画

「描く夢や未来の実現」

(コンセプト **主体性** 多様性包摂性 信頼協働)

浜松市の目指すこども像

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し主体的に行動できるこども
- 自己調整しながら粘り強く取り組むこども

学校教育目標

「ゆめ」に向かって **たくましく生きるこども**

清竜中学校区目指すこども像

自分のよさに気づき、他者とのかわりを大切に、夢に向かって努力するこども

進んで学びに向かい、力を高める 考える子

- ・学ぶ意義を理解し、見通しをもって主体的に課題解決に取り組む。
- ・学習の過程を振り返り、自分の伸びと課題をはっきりさせて次につなげる。
- ・友達の考えをよく聞き、自分の考えを分かりやすく伝える。

具体的な手立て

- ・こどもとともに見通しをもって課題解決に向かい、自分ごととして取り組むよう、学習展開を工夫した単元構想づくりを行う。
- ・学びの足跡や付いた力を自覚し、自己調整できるよう、ICTを活用する等、振り返りの仕方を工夫する。
- ・相手の考えをふまえた上で自分の考えをもち、自信をもって発表できるように、聞き方や話形、声の大きさを意識して相手に伝える機会を設定し、繰り返し指導する。
- ・【家庭との連携・協働】
家庭学習、読書の習慣の確立をするため、家庭学習の手引きを作成し、情宣する。

自他を大切に、進んでよりよい行動をとる 明るい子

- ・相手への思いやりの心もち、自分と友達のよさを見つける。
- ・目標に向かい、見通しをもって前向きに努力する。
- ・ふるさとを愛し、大切にする。

具体的な手立て

- ・「屋の会」の「しあわせシェア」では、自分のよさだけでなく友達のよさも見つけられるよう意図的に働きかけ、互いに認め合う雰囲気を作り、自己肯定感の醸成を図る。
- ・自分のゆめ(目標)達成までの見通しと具体的手立てを意識させ、振り返りまで確実にに行わせる。努力の過程や伸びに気付かせ、自信につなげる。
- ・「くんまおうえんしゃ」としての活動を通して、地域の一員であるという自覚をもたせ、くんまのために貢献しようという気持ちを育てる。
- ・豊かな自然の活用を教育課程に工夫して取り入れる。
- ・【家庭との連携・協働】
情報モラル講座や熊小オリジナルルールを活用して、情報モラル等のマナーやルールを理解徹底させる。

進んで自分の健康・体力の保持増進を図る 強い子

- ・目標をもち、進んで運動技能や体力を高める。
- ・自分の体に関心をもって、健康に気を配った生活をする。

具体的な手立て

- ・体力テスト、一輪車、持久走、なわとびについて、それぞれカードを使い、目標達成の見通しをもたせ取り組ませる。努力の過程と伸びを認め、称揚する。
- ・「げんきコーナー」をこどもたちの身近な廊下に設けて、日常の中で自ら知識を得たり、意識の継続につなげたりする。
- ・『健康の日』の全校保健指導では、こどもの実態や季節に合ったテーマを取り上げ、自分の健康づくりについて意識させ、自己のめあてが達成できるようにする。
- ・【家庭との連携・協働】
『健康チェック』を保護者とともに活用することで、年間を通じて基本的な生活習慣が身に付けられるように支援する。

熊小「身に付けたい4つの力」をバランスよく高める＝熊小の「たくましさ」

・『ひと』とかかわる力

聞く・伝える 相手を尊重
思いやり 協力・協働 気持ちのよい挨拶

・『自分』を高める力

主体性 前向き 自分のよさ 自信 粘り強さ 自己の役割 責任

・『チャレンジ』する力

課題発見 解決への見通し 計画的に実行 評価・改善 生活に生かす

・『ゆめ』につなぐ力

学ぶことの意義理解 豊かな経験 になりたい自分 選択・判断

自分の生き方を支える「学びに向かう力、人間性」を高める教育

幼小連携 連合教育 ICT活用 一輪車・百人一首・全校合唱 ふるさと学習・若杉発表会
くんまおうえん社 「ゆめ」プロデュース ゆめ宣言 ゆめ講座 ゆめポスト 豊かな自然の活用

特色ある教育活動

合言葉「自分よし 相手よし みんなよし」(三方よし)～ウェルビーイングの実現に向けて～

一人一人を大切にする教育活動の展開
地域・保護者との連携・協働

目指す学校像

一人一人が主役となって輝く学校
安全で安心できる温かな学校

児童理解を基盤とした気持ちに寄り添う温かな支援
学校家庭間の円滑な情報共有と迅速で確かな対応

熊小コミュニティ・スクールを生かした学校運営

自治会
社会福祉協議会
ふれあいセンター

地域ぐるみの人づくり

いちごばたけ
NPO 夢未来くんま